令和 6 年 12 月 3 日

第 4 回　信州たかもり温泉リニューアル検討委員会　会話文字起こし記録

出席者：委員 4 名
共同検討者 3 名
基本設計者 2 名
事務局 4 名

要点

●ターゲットの再確認
└町民自身が楽しむことができ、自慢できる施設を目指し、もって町外利用者・観光客の誘致につなげる

●駐車場の増設　現収容台数（約 100 台）では改修後の運営が難しい課題から
案 1　既存駐車場南部分に立体駐車場建設
増加台数：約 100 台→176 台　　工事費用：約 280,000 千円
案 2　道路東側農地等を利用　※あくまで案。地権者等への調査等はまだ
増加台数：約 100 第→約 300～500 台　工事費用：約 100,000 千円弱
└案 2 が有力、具体的な方法について研究

●国補助金
これまでのデジ田交付金拠点整備タイプから、名前も性質も変わる模様、特に補正予算分については単年度工事→複数年度（3 年）工事に変わる可能性あり。

●意見募集
年明けを目途に、町民等に向けリニューアルの意見募集開始

●当委員会
今回をもって、基本設計案の検討を一区切り。今後必要により召集

1．あいさつ
委員長）12 月に入りここに忙しい時期に入ったかと思うが、夜分にお集まりいただき

ありがとうございます。検討委員会も終盤になってきたので、ご意見を出していただき、最終的に決められる部分は決めていきたいと思う。

2．基本設計について

（1）商工会壮青年部との意見交換

倉橋設計）ターゲットをどうするかというところに関し話題になったが、まずは「町民の皆さんが来たくなる施設」というスタートラインがあった。富裕層向け、外国人向け等「とがった方がいいのでは」という意見もあったが、特徴を出しすぎても、長い目で見ると難しいのではないかと考えている。町民を狭くとらえず、飯田下伊那の人に来てもらえるサウナなど、ターゲットを広くとらえ、地元に密着しすぎるのではなく、真ん中を行けたら。広く地元をターゲットとし、「今までと全然違う」「変わった」と感じてもらえて、地元の人にも利用してもらえる施設を考えていけたらと思う。

中ア）壮青年部との意見交換で、ターゲット設定に関しては熱意を感じた。「観光に振ってしまえば？」という意見が意外にも出ていた。（ターゲット等）再認識して、考えて作っていかなければと思った。ただ、あそこだけで観光にはなれない。地域で観光をやっていく意識があるかどうか、町の皆さんに聞いていく必要はあると思った。清流苑をライバル視しているのも、話していて分かった。隣町に負けたくないというところで、超えるものにしていかなければと思った。

委員）やはり商売屋さんの発想が多い気がした。一定の所を超えないと、現状打破にはつながらないだろうな、と。今のままを維持しながらの集客は難しく、どのくらい飛び出ていくか、と感じた。議会の最終日に町へ政策提言を予定している。自分の所属では、上段で観光に関する開発を進めてくれるよう提言する準備をしている。今のハーモニックロードはかつてのサイクリングロードであり、観光資源が山ほどある。あそこはまず見晴らしがいい。滝があり、瑠璃時があり、いろんなものがある。もっと踏み込んでいけば、施設だけでなく、かつてのサイクリングロードがある。清流苑と高森町を結ぶマラソン大会をやってみるなど、「町単体でどうにかしよう」というところから一歩踏み出していかなければいけないのではと思った。

委員）集客力の差は、要するに差別化をどうするか。町主導の事業としては中途半端かな、と。富裕層のみに特化するという考え方もあるが、そこへ行くまでのハードルが高い。どう利用者を増やしていくか、全体のビジョンとして考える必要がある。大それたことは難しく、また、建物だけ

が良くなっても集客は難しいのではないか。観光全体として考えた時に地域全体としてどういう魅力があるか。施設が仕上がる前に、どう観光の魅力を発信できるのか、我々住んでいるものは当たり前になっているものを、見つけて磨き上げていく活動をしていかないと、利用客が増えないのではないか。食事、泊りだけに来るというのではなく、ある程度の時間を施設で過ごせるというのが必要ではないか。壮青年部のメンバーは毎週キャンプをしている。彼らがキャンプをする理由は、そこに魅力があるから。中には昆虫や爬虫類に詳しい人もいて、そういったところも、ある意味では魅力ではないかと思う。高森だけでなく下伊那全体の魅力としてピックアップして、ビジョンとして掲げていく必要があるのではないか。

委員）他の地域と圧倒的に違うのは景観。垂直に展開する景観はここでしか見られない特徴。真似したくてもできない。果物のおいしさも特有で、すごく大事な南信州全体のイメージだと思う。地球が作った魅力を強みにすべきだと思う。魅力が何かというところがまずは大事。策を弄しても全然違うところから火が付くこともあるだろうし。「高森町はいいところ」だと自慢したくなる施設なら、町民にとっても観光客にとってもいいところになる。観光に来る人も地元で人気のお店に行きたいと思うはず。町民が施設を愛し、自慢したいと思えるところを狙うべきだと思う。

委員）豊丘のマルシェが今すごい。高森はそういうところがない。あんしん市場くらいしかない。

小平）いったん案がまとまるが、そのあとも意見交換を続けていければと考えている。

（２）倉橋設計説明

中ア）道を挟んだ対岸が実現するといいのかなとは思う。中については前回と変わらないので、いい施設になればと思う。

中ア）詰めて 300 台数になればと思う。

委員）Ａの案はいいと思うが、黄疸が危ないのは懸念。地下道等を設けて、アクティビティにするなどの工夫ができれば、そちらに近い方から駐車場が埋まるのかなと期待もできる。

小平）町としても歩行者の安全は検討していく必要があると感じている。費用的な部分で道路の改良も含めると、立体駐車場と変わらない金額になってしまうのではとも感じているところ。

中ア）停められる台数はＡの方が圧倒的に多い。駐車場問題はだいぶ苦労した。100 台はあっという間に埋まってしまう。

小平）立体駐車場は高さによってはお風呂が見えてしまうとのことだが、具体

的にはどのくらいの高さか

倉橋設計）３メーターいかないくらい。

小平）脱衣所よりも露天風呂が低い位置にある。

倉橋設計）男子の露天風呂との距離感は少し心配。

小平）景観的に、お風呂から外を見ると立体駐車場が見えるというのはどうか。

委員）露天風呂は、現状でも壁を取っ払ってほしいくらい。

小平）駐車場については結論を出していくのは難しいと思う。方策の提案があり、どういった方向性で行くのかは、町の方で判断を進めていければと思うがよろしいか。

全員）同意。

中ア）木の伐採の話があったかと思う。サウナエリアが広がると思うが、景色を良くしてもらうと良いのではないか。下から見てもむさいな、と思う。すり鉢のように木が生えているので、なくなれば露天エリアもよくなるのではないか。

中ア）なくなれば飯田の夜景が見えると思う。

小平）温泉南の山林の景観を良くするという提案は中央アルプスからも受けている。一部町、一部個人の持ち物になる。尾根を越えるとすぐに南大島川になるので、災害の関係も気にしながらの対応になると思われる。気が密集して整えうるのかどうかも含めて検討させていただきたい。

倉橋設計）豊丘マルシェの話が出たが、先日寄ってみた。地元の野菜を使ったところで、おいしくて、うまくアピールするとお客さんが来るんだと感じた。見本があるので、レストランの在り方、食を頑張らなければいけないと感じた。特に食事はサービス・内容が大事で、お風呂とマッチングすることが重要。フルーツも野菜もあると思うので、朝市のようなスペースができればまた面白いのかと思う。豊丘マルシェは観光客も地元客も利用している様子で、非常に良い例かと思った。

中ア）食事はとても大事だと思っていて、食事のイメージはくらすわかと思う。提供しているものもベーカリーから地元野菜、健康食品まである。温泉メニューを扱っているが、女性にも見てもらえるように健康食品なども取り扱ったり、フレンチみたいなのもやっていけたらと思う。

委員）駐車場に別事業として道の駅を引っ張ってきたら面白いのではないかと思ったりする。併せて考えていければ。あんしん市場や旬彩間の発展についても時々話題になる。お風呂に来た人は道の駅へ、道の駅へ来た人はお風呂へという流れができればと思う。

小平）道の駅の条件としては 24 時間空いていて、トイレがあることが条件になる。道の駅となると、大型車両の駐車も考えていく必要がある。全国

でも数少ないＥＴＣ2.0 という仕組みがある。下りて乗りなおしても金額が変わらないということで、それが活用できれば、より利用してもらえるのではないかと考えたことがある。ただ、それを実施するにはやはり駐車場問題が出てくる。実現する場合、中央アルプスリゾートが提案していた 24 時間営業ができればかなり効果はあるのではないかと思う。

中ア）駐車場を広げて 300 台になるならば、道の駅のようなもう一コンテンツほしいなとは思うところ。

中ア）道の駅という称号が欲しければ他の条件もあると思うが、新しい形で引っ張ってきて町に注目を集めるのも一つでは。

委員）可能であれば道の駅などの新たなコンテンツを入れながら、温泉以外のコンテンツが集中的にそろっていくのは必要だと思う。遊びを探そうと思えばいくらでもある。温泉に泊まって次の日に遊びに徹して帰ってきてくれるといい。

中塚）ブドウ狩りとさくらんぼ狩りのお客さんが御大に寄る仕組みができている。ただ、1～3 月は閑散期になる。

委員）豊丘マルシェも目玉がなくなる時期は、大きな卵を仕入れてくるなど工夫している。課題をつかむ必要がある。

委員）最初は豊丘マルシェもあんなところにつくってどうなるのか、とみていたが、今はすごい人。自分たちからしてみれば少し高くても、観光客の方は買っていく。観光に来た人は、普通より良く買う。手作りのパン屋さんもあって、外にテーブルがあって座って飲食ができる。足湯もあって、サイクリング用のバイクを借りることもできる。

小平）自分たちが利用する施設が、外の人にも使ってもらえる施設になっていくと思う。

３．今後の進め方

小平）原案として一区切りとさせていただく。発足して最初の会議の際に、来年度の改修に向けて、国の補助制度を利用して、事業費を５億円として説明をして進めてきた。臨時国会の中で議論されている部分でもあり、当初目指していた財源そのものの名称が変わり、金額・規模・対象期間が変更になるなどの話が出てきている。単年度ということで考えていたが、複数年度も対象になる可能性が出てきた。当初のスケジュールも調整・検討していく必要がある。まだ国の方から明確な話が出ていないので、今後変更を検討していく可能性があることをお話ししておきたい。温泉の改修についても、これで町長へ報告をする。議会に上程したら、町民の皆さんへ展開していく。国の制度の変更点、町長の意見等を踏まえて、皆さんにご意

見をいただく必要があれば、機会を年明けくらいに設けさせていただければと考えている。特段大きな変更やお諮りしたい内容がなければ、機会は設けずに、町民へお示しする方向にしたい。

全員）同意

４．その他

委員長）４回で何とかいい方向が出て、意見も採用させていただき、立派な温泉が具体的な建築としてスタートできればいい。道の駅などいろんなコンテンツがつながっていけば、豊丘マルシェなども巻き込んだ基地としての観光をやっていければと思う。複数年かけられるとしたら、本当の温泉として認められる環境をつくっていけたらと思う。約４か月、お集まりいただき、ご意見をいただきありがとうございました。

次回開催予定：町長への報告後の様子により、召集の可能性あり